

# 13 金沢大学

Kanazawa University

## フォーミュラ研究会

Formula R&D

<http://www.kanazawa-formula.com/>

## 第13回大会を終えて



### 今回の総合結果・部門賞

●総合51位 ●プレゼンテーション賞2位

### Profile チーム紹介・今までの活動

私たち金沢大学フォーミュラ研究会は2002年に発足し、2003年の第1回大会から参戦しています。大会への出場を通して工学的知識や技術、社会に出てから必要とされる能力を身につけ、将来社会でそれぞれの分野を牽引していけるような社会人となることを目標とし活動しております。

### Team-member チームメンバー

米田 慎之介 (CP)

裨田 登 (FA)

星野 今日子、斎藤 一輝、田尻 紘己、寺澤 佑丞、  
稲葉 博紀、片桐 聡子、砂原 一楓、千葉 洋尚

## Presentation

### プレゼンテーション

第13回全日本学生フォーミュラ大会参加車両KF2015では「With all drivers」を車両コンセプトとして掲げ、入門フォーミュラカーとしてどんなドライバーでも運転しやすい車両をめざしました。最も車両のパフォーマンスが示され、かつ大会の審査項目中で配点の高いエンデュランス審査において上位を獲得することを目標として、昨年度車両KF2014を基にパッケージを見直し、設計を変更しました。

車両重量を大幅に軽量化し、ヨー慣性モーメントの低減を狙うためにエンジンは昨年に引き続き単気筒エンジン、さらに10インチタイヤを採用しました。それに伴いアクスルをはじめとした足まわり部品の軽量化をめざしました。昨年度のドライバーインプレッションにより剛性が低いことから、剛性が高くなるよう設計しました。車両中で大きなウエイトを占めるフレームについてはアルミ削り出しリヤバルクヘッドを採用し、そこへ力の掛かる部位を集めることで局部剛性を高めました。また骨組みに関しても軽量、コンパクトな昨年のパイプの配置を基に、重量当たりのねじり剛性を上げるよう設計を見直しました。また、ドライバーの体格に合ったシートを発泡ウレタンにより製作し、ペダルボックスもドライバーに合わせて調節しやすい機構を採用しました。

## Participation report

### 参戦レポート

今年も昨年に引き続き人数の少ない中で車両製作を行なうこととなり、さらに先輩が現役チームから引退し、新たなチームがスタートしました。また一から車両を製作するのは初めてのメンバーがほとんどであったため、予想外のトラブルが続出しましたが、先輩方のアドバイスもあり、5月中旬にシェイクダウンを行なうことができました。

シェイクダウン後に走行中の不具合による修正部品の補修、事前走行会での車検不適合部品の判明とその修正に追われ、また新規に取り付けが決まった部品もあり、静的審査書類準備と並行して、新入生にも手伝ってもらい部品の製作を行ないましたが、走行テストを行なう時間を捻出できませんでした。

大会では、静的車検も1回での通過とはなりませんでした。数点の修正で通過することができました。しかし車検通過が遅く動的審査に進むことができず、事前の準備不足、力不足を実感することとなりました。来年度は今年度の課題を克服できるよう努力してまいります。静的審査ではプレゼンテーション審査で過去最高の2位を獲得することができました。

最後に、これまでさまざまな場面でチームを支援していただいたスポンサーの皆様、先輩方、大会を運営していただいたスタッフの方々、その他多くの方々へ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

### Sponsors スポンサーリスト

スズキ、高松機械工業、タカサーキット、北国新聞社、アルテクノ、石金精機、石原金属化工、江沼チエン製作所、金沢大学技術支援センター、小松鋼機、コマツ NTC、NTN、UACJ、協和工業、スズキ部品秋田、ソリッドワークスジャパン、津田駒工業、東日製作所、日新レジ、日本精工、プレニー技研、細田塗料、ミスミグループ本社、ヤマハ発動機、ヤマモト、和光ケミカル、他多数

**Team-Movie** <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/13.html>